令和５年度　東京体験学習

厚生労働省の仕事

作成：2年2組　鎌谷心春
2年4組　西畠侑希

厚生労働省で、本校OBの近藤さん、OGの森田さんに、お話をうかがいました。コロナ禍における公衆衛生上の対応を中心に、厚生労働省の職務やそのやりがい、難しさについて学びました。

厚生労働省は、私たちの生活に密着した、医療や健康、福祉、労働などの政策を全国規模で実施します。例えば、コロナ禍では全国でのコロナワクチンの接種のためのプロジェクトを行いました。

近藤さんのコロナ禍における厚生労働省での経験についてうかがいました。実際に保健所に行って現状を把握し、課題を見つけ、現場の人とともに考えて新たなシステムや組織をつくるという行動力と熱量に感銘を受けました。その根源である「自分ごととして考える」という姿勢が大切だと学びました。また、国家公務員の仕事には大きな責任があるが、目に見えて社会が良くなるというところにやりがいを感じるということがわかりました。

厚生労働省の名前はよく聞いていたが、実際に厚生労働省で働いている方からお話をうかがうことで、今までよりずっと身近に感じることができました。また、「国の制度を作る」という仕事を知ることができました。（西畠侑希）

厚生労働省の仕事について直接お話をうかがうことで、実際の経験やそこで感じていること、志などについて学ぶことができました。これからの学校生活や将来の進路への視野が広がるとても良い機会になりました。（鎌谷心春）